

# 和歌山県住みます芸人わんだーらんど 日高川超～さけび隊通信 vol.17

今年もみかんの収穫・販売行いました！  
そして、靴磨き職人のお店へ行ってきました！

**まことフィッシング**： やっとこの季節が来た～草刈り肥料撒き草刈りを繰り返し、いよいよ和佐の畑でミカンの収穫です！ 八朔と甘夏がメインなので、ミカンは少ししか無いのですが楽しみ～と畑に到着すると…あれ？ 本当に少ししかないやないか(笑) 今シーズンもイノシシに横取りされていました。おかげで収穫が早く終わり、日高川に落ち鮎パターンでシーバス釣りに行けるからラッキー！ ラッキーちゃうわ!!少量ですがわかちか広場のイベントで販売してもらいました～日高川町のミカンは美味しいと好評でした～



今年初収穫したみかん



早速地元応援PRイベント「ワカ☆キラ」にて販売しました



STILL SHINE野尻さんと



思わず覗き込むたにさか

**たにさか**： みかんはまことに任せて、僕は日高川町で頑張ってる若者を紹介します！ 日高川町役場前のお店「STILL SHINE」の野尻悠貴さん。進学で京都へ行った18歳の時、趣味の靴磨きを路上で始めた。一旦姫路で就職したが一念発起し、故郷に帰り、念願の靴磨き専門の店をオープンした。26歳ながら落ち着いた雰囲気靴を磨く。女性をメイクする感覚に近いと言う野尻さん。汚れを落とし、革に潤いを与えて、何度も塗り重ね艶を出していくのはさすがの一言。顔が映るほど磨かれた靴は、履きたいと思うこと間違い無し！ ゴジラが好きで、意外にも夏男で川で鰻釣り、ギター腕もすごい多才な野尻さんと、靴磨き観ながら話すのも楽しかった♪ 看板猫ラブにも会いに行ってみてください！



地域を変えていく新しい力

# 日高川町地域おこし協力隊通信 vol.69

こんにちは！富田&足立です。10月は三百瀬のみかん農家さんと研修を受けました。収穫直前、山々がみかん色に色づいていく姿を日々感じながら、ついに下旬からは収穫作業に初参加となりました。これだけでも十分な体験ができたのですが、まさかの展開です！

なんと「自分たちが畑で一つ一つハサミを入れたみかんを自分たちで袋詰めし、値段を決め出荷、そしてそれらが大阪のスーパーに並び、実際にお客さんが手に取るまでを見届ける」ことまでさせてもらいました。

一度手元を離れたわが子がどんなお店に届けられ、最終的に誰が購入してくれるのか、滅多にない貴重な体験をさせてもらったことに本当に感謝の言葉が尽きません。

1歳半になる私富田の息子もみかんの味に魅了されており時には皮ごと…(笑)。11月からは保育園にも通い始めたのでお友達、そのお父さんお母さん方、保育士さん方皆様どうぞよろしくをお願いします。



地域おこし協力隊員足立の  
twitterはこちらから▶  
[http://twitter.com/pop\\_i\\_farm](http://twitter.com/pop_i_farm)



■お問合せ 農業振興課 ☎22-2048

## ゼロカーボンシティひだかがわ Zero Carbon City Hidakagawa ～できることから始めよう～

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。「ゼロカーボンアクション30」にできることから取り組んでみませんか。▶



(環境省「COOL CHOICE」)

日高川町では、地球温暖化防止対策の一環として、エネルギーの自給率の向上および災害に強い地域づくりに寄与するため、太陽光発電システムを同時に設置するまたは既に設置している方が、新たに住宅用蓄電池システムを購入し設置する場合、費用の一部を補助します。詳細は町ホームページをご確認ください。▶



**衣類・ファッションでもサステナブルを!**

**ACTION**

- 21 今持っている服を長く大切に着的
- 22 長く着られる服をじっくり選ぶ
- 23 環境に配慮した服を選ぶ

環境省  
Ministry of the Environment

■お問合せ 企画政策課 ☎23-9511

## 防災通信 Vol.39 火事だ! 火災初期の3原則

**1. 早く知らせる!**

大声で「火事や!」と叫ぶ

- 一人で消そうとせず、応援を求めて助けてもらう。
- 落ち着いて119番通報をする。

**2. 早く消す!**

初期消火を行う

- 火が小さいうちは消火可能、火が天井にまで燃え移ったら消火を諦める。
- 水や消火器だけでなく、座布団で火を叩くなど手近なものを活用する。

**3. 早く逃げる!**

ちゅうちょせず避難する

- 出火から3分が初期消火の限界、火が天井に燃え移ったら早く避難する。
- 避難するときは、燃えてる部屋の窓やドアを閉める。(空気を遮断、燃え広がる速度を抑える。)
- 空気を吸い込まないように低い姿勢で一気に走り抜ける。

■お問合せ 防災センター ☎24-9280